

違憲

外國語禁止法は

憲法違反と判決

【一】外國語禁止法の下した外國語教習の判決は、加州の日本語の禁習を認めた。この判決は、多くの人の間で大きな議論をもたらすものである。

である。

【二】

である。



合衆國大審院は 十一日より夏休

十月一日迄院長が発表

禁酒法實施規則

來る十日より実施

土地法判決は秋頃か

（昨日某所著電報）

（本紙）

昨日入港

（桑港）

安洋丸

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

昨日入港

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

昨日入港

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

昨日入港

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

昨日入港

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

昨日入港

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

昨日入港

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

昨日入港

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

昨日入港

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

昨日入港

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

昨日入港

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

昨日入港

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

昨日入港

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

昨日入港

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

昨日入港

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

昨日入港

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

昨日入港

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

昨日入港

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

（桑港）

自活する女



(八)

「あの人、事を思ひ出す。腹が立つ。」
「其の腹は直に消してしまふんに
事ばかりだから、武川さんの腹。
はもうよしにやうね。」
「私も其の腹が立つ。少しも
何なんに憤りな眞似をしてたつて
あるやうでは、御前か何日も家
に居て、お母さんへ手紙を出しても
演名さまへ手紙を出してしまつた。
「私は立たない事よりお母さん
よく出でて奥見ねだね、お反対
をされ地しなくら成らないし、お辭
めが余裕さまでお参りをしないの
内にはお辰さんが旅行先から歸
ふる途中で京都の大坂寄つて、
来る事があつた。何の事か、何の事
か、其の事が豊吉さんをひき入つて
お前の仲良氣づくなるだけ。
「其の時は、誠に、あいふ
女だから、豊吉さんがあつた。お前から歸
ふる事の無い事あるまい。」
「全うそで、今ではむづむづ
實を言ふ。」
「たつて居たれど、實を言ふ。
お前は早歸した方がよいよ。」
「たつて、お母さんを歸りて、
彼等が學園に来るまでの不良原因
を見ることはない。」
山でバナ、さかいもさかを食
さに再び戻つて来るのが例である。
年間は野崎園長も職員も假眠
かつたまふ。三四日間は彼等は
一で島から逃げ出す。カリーは最
もたくみに漁師で四十回以上は假
の波をこすことは出来ない。それで
も逃げ出す。圓内裏小屋に放火す
る、山に逃げ込む。創立當時の半
年間は野崎園長も職員も假眠
も假眠で、行方不明のもので到
底見出せない位です。

山

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲

悲